

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、読者の皆様におかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

本誌は昨年、創刊60年ならびに通巻700号を迎えることが出来ました。長きにわたり継続できましたのも、ひとえに読者の皆様ならびにご執筆の先生方、歴代の編集委員の先生方をはじめとする本誌にご支援をいただいている皆様のおかげと心より御礼申し上げます。編集委員会では、昨年4名の先生が10年の任期を終えられ、新たに多方面でご活躍の4名の先生方に加わっていただき、新たな一歩を踏み出しました。退任された先生方には、長きにわたるご尽力に深謝するとともに、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。これからも読者の皆様一人一人にご満足いただけるようなモダンメディア作りに努めてまいりますので、引き続きご愛読のほどお願い申し上げます。

弊社は、ヘルスケア（「臨床検査事業」、「食品・環境検査事業」）を通じて、人々の健康を守ることを経営理念とし、より高品質の製品および情報を提供することにより、人々の健康に貢献すべく、事業活動を推進しております。

昨年11月に、大腸がんスクリーニング検査の便潜血測定装置「OCセンサーPLEDIA®」を発売いたしました。使いやすさと機能を進化させ、国内・海外における便潜血検査市場において、その性能を十分に発揮できるものと考えます。また、弊社は「特定非営利活動法人ブレイブサークル運営委員会」に参画し、大腸がん検診の受診率向上を目指し啓蒙活動を実施しております。昨年も、東京都との共催による「Tokyo健康ウォーク2014」をはじめ全国の啓発事業と連携し、参加の皆様が大腸がん検診による早期発見・早期治療の大切さをお伝えしました。

また、遺伝子増幅法LAMP法では、FINDとの共同開発を行っている結核、マラリア、アフリカ睡眠病、リーシュマニア症に加えて、メキシコ、中央および南アメリカ地域で発生している風土病のシャーガス病についても簡易・迅速な遺伝子検査法の開発に合意し、共同開発を開始しました。

さらに、近年、感染制御や的確な治療を行う上で、MIC測定の重要性が増してきていることから、微生物感受性分析装置「DPS192iX」と微生物分類同定分析装置「MALDIパイオタイパーMF」を発売いたしました。これらを組み合わせることにより、同定検査成績と薬剤感受性試験成績の連携が可能となり、早期の原因菌特定と抗菌薬選択、的確で迅速な感染症治療、院内感染管理等に大きく貢献できるものと確信しています。

弊社は、今後ともお客様に信頼される製品・サービスを提供し人々の健康と医療の向上に貢献できる企業を目指してまいります。本年も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新年恒例の新春放談では「新しい技術が支える結核診療の展望」と題し、本領域にご造詣の深い先生方にご参加いただき、結核の現状、最近の検査・治療の進歩、感染対策そして、将来展望と幅広くお話をいただきました。ぜひ、ご一読ください。

最後になりますが、皆様のご健康と益々のご活躍を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成27年元旦



栄研化学株式会社

代表執行役社長

和田 守 史